小学校３年生　社会科　学習指導案

１．題材　　　　地産地消について知ろう

２．ねらい　　　学校給食で箕面産の農産物の活用がすすめられていることを知る。

　　【食に関する指導の視点】

社会性　　　　　給食で食べているものが、地域で生産されていることを知る。

食品の選択能力　地産地消について知り、地元のものを選ぶことの大切さを知る。

感謝の心　　　　地元の人が生産したものを大切に食べようとする気持ちをもつ。

３．評価規準　・給食で食べている箕面の農産物について知る。

　　　　　　　・地産地消をすすめる生産者の苦労を知り、感謝して食べる態度を養う。

　　　　　　　・地産地消の意義について理解し、自分たちの暮らしに興味をもつ。

４．展開

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 子どもたちの活動 | 授業者の支援・指導のポイント | 準備物 | 評価 |
| 導入 | ある日の給食メニューから、箕面産の食材をさがす  予想したものに○をつける  給食材料の産地について知る（答え合わせ） | 給食のメニューを紹介する  ・ごはん・牛乳・鶏肉のマーマレード煮・みそ汁（米・牛乳・鶏肉・大根・玉葱・人参・しいたけ・ゆずマーマレード・ほうれんそう）  ・○○産＝○○で作られたもの  ・食材を日本地図と結んでいく  ・給食では毎日使っているわけではないことにもふれる  みのお産の食べ物を食べると、どんなよいことがあるかさがそう | スライド  給食写真  日本地図 | 興味を持って予想しているか（学びに向かう力、人間性等） |
| 展開 | 課題を知る  箕面産の説明を聞き、気づいたことをワークシートに記入する  ・ひとりタイム  ・ふたりタイム  となりの人と共有する  メモからよいところを発表する  ・全体共有  地産地消について知る  箕面の野菜を売っている場所を知る | ・新鮮  ・作っている場所はどこだろう  　知っている場所で作っていたら安心  ・遠くから運ぶと燃料と時間がかかる  ・農家のメッセージを聞く  ・市役所の人の話を聞く（荒れ地の活用）  発表の内容を板書し、キーワードになる言葉にアンダーラインをひいて確認していく  ワークシートにまとめる  ・しんせんなものを食べられる  ・作っている人や場所がわかるので安心  ・のう家さん（作っている人）の思いが伝わる  ・みどり（環境）が守られる  地産地消という言葉を聞いたことがあるかな  地元で生産（つくられた）されたものを  地元で消費（食べる）することを  地産地消という  ①自分の畑で採れたものを自分の家で食べる  ②学校の畑で採れた野菜を給食で使う  ③無人販売所・朝市で箕面産の野菜を買って食べる  ④箕面市の畑で採れたものを直接買う  箕面の野菜を買ったことがあるかな  朝市や販売所を紹介する  →売れる＝種・機械・肥料が買える  →おいしいと伝える＝やる気・やりがい | 畑の写真  農家ﾑｰﾋﾞｰ  市役所ﾑｰﾋﾞｰ  朝市・販売所のスライド | 箕面産のよいところについて考え、ワークシートに記入しているか（思考・判断・表現） |
| まとめ | わかったこと、感じたことを書く  発表する | 地産地消のよい点がわかったか |  | 地産地消のよい点がわかったか（知・理） |